

# 魚類図鑑

注意：全長は、ふつうに見られる中で最大の大きさです。

## オオクチバス

スズキ目バス科

全長：約50cm



### ■解説

一般に「ブラックバス」と呼ばれている魚です。北アメリカ原産で、日本へは1925年に芦ノ湖に持ち込まれました。その後、ルアー釣りの対象として人気が高まり、全国各地に放流されました。

オスがメスを産卵床に導いて産卵させ、産卵後はオスが卵を守る習性があります。

外来生物法においては、「特定外来生物」に指定されています。

### ■食べているもの

ほかの魚や甲殻類だけでなく、昆虫や鳥のヒナまで食べてしまいます。

### ■現地調査での確認範囲

下流域 中流域 上流域

### ■主な生息環境

河川域		
ワンド	淵	瀬

### ■生活型

純淡水魚

■：主な確認範囲

## ブルーギル

スズキ目バス科

全長：約25cm



### ■解説

北アメリカ原産で、日本へは1960年に伊豆の一碧湖に持ち込まれました。現在では日本全国に分布しています。

体はだ円形で青い斑点がえらの所にあります。

オスがメスを産卵床に導いて産卵させ、産卵後はオスが卵を守る習性があります。

外来生物法においては、「特定外来生物」に指定されています。

### ■食べているもの

雑食性で、水生昆虫や甲殻類、水草などのほか、魚の卵や稚魚を好んで食べます。

### ■現地調査での確認範囲

下流域 中流域 上流域

### ■主な生息環境

河川域		
ワンド	淵	瀬

### ■生活型

純淡水魚

■：主な確認範囲

## カムルチー

スズキ目タイワンドジウ科

全長：約80cm



### ■解説

体は細長く、頭はヘビのようで、口が目の後ろまでさけています。もともとはアジア大陸東部などに分布する魚で、日本へは1920年代に持ち込まれました。

流れの少ない水のごった泥底を好み、水草が茂った場所などにすんでいます。空気呼吸をするため、空気を吸えないと死んでしまうことがあります。「雷魚(ライギョ)」とも呼ばれています。

環境省の示す「要注意外来生物リスト」に掲載されています。

### ■食べているもの

小魚、カエル、昆虫などを食べます。

### ■現地調査での確認範囲

下流域 中流域 上流域

### ■主な生息環境

河川域		
ワンド	淵	瀬

### ■生活型

純淡水魚

■：主な確認範囲

## タイリクバラタナゴ

コイ目コイ科

全長：約7cm



### ■解説

体の形はひし形です。もともとは中国などに分布する魚で、日本へは1940年代に持ち込まれました。

産卵時期には、オスの体は青緑色や赤色のきれいな色になり、卵は二枚貝の中に産みつけます。日本産バラタナゴと交配するので、大きな問題となっています。

環境省の示す「要注意外来生物リスト」に掲載されています。

### ■食べているもの

川底の石についた藻類や水草などを食べていますが、底生生物なども食べます。

### ■現地調査での確認範囲

下流域 中流域 上流域

### ■主な生息環境

河川域		
ワンド	淵	瀬

### ■生活型

純淡水魚

■：主な確認範囲